

旅と絆

(株)センターツーリスト「旅行友の会」会報

第43号(夏号)

発行責任者 古久保 暢男
電話 06-6354-9131(代)
FAX 06-6354-9134
E-mail c.t@f7.dion.ne.jp

創立 30 周年記念行事

日時 2013年6月1日(土)
13時30分開場

場所 太閤園
.....

第I部 14時～
・記念講演：有馬理恵
・映像で綴る「30年の歩み」
(会費1000円)
.....

第II部 懇親会(17時30分～)
(会費6000円)

※同封のご案内用紙(地図入り)により
I部、II部いづれでもお申込み下さい。

株式会社センターツーリストは、厳しい旅行業界の荒波を乗り越えて創立30周年を迎えます。

それは、平和と連帯の思いを込めた沖縄の旅、小倉寛太郎さんと進めたケニアの自然感動の旅、ドクちゃん・ベトちゃんへの励ましの思いをこ

めてベトナムとの熱い連帯紡いだ平和の旅等々。確固とした理念を持ち、心に残る旅を求める多くの人とともに歩んで迎えた30周年です。

ご一緒にこの日を祝い、「友の会」もスクラム組んでさらに豊かな旅づくりへ。

【友の会会長・古久保 暢男】

創立30周年 お祝いしましょう



人と人の輪を広げる旅に

好評だった映像報告

4月6日(土)、センターツーリスト友の会は、今年も午前中に繁昌亭で落語を楽しみ、午後総会。

今年度の取り組みを映像で振り返った後、文化行事で合唱団ピースコールと一緒に東北支援の「花は咲く」をみんなで合唱。

この日は午後から大型低気圧接近のために大幅に議事を削減し、「旅は人と人との連帯を強める。一人でも多

くの人とその輪に入っ
てほしい」と植田保二
副会長のまとめで終了
しました。

今回、初めて試みた
映像報告は好評でした。

上村得世



笑顔はじけた繁昌亭



「花は咲く」を合唱



映像に見入る参加者



平和グルメベトナムの旅

今も枯葉剤の被害が

宇野三郎さん

ハノイでは泥だらけの車が走っていることや、バイクや車の多さにも驚きました。ツアー病院で聞いた米国による枯れ葉剤の被害が現在も百人に一人の割合で続いている話にはびっくりしました。戦争証跡博物館での話や写真・資料を見て「戦争をしてはならない、させてはならない」の思いを強く感じました。

今回の体験を一人でも多くの方に自分の口から伝えていきたいと思えます。
.....

平和の大切さ改めて

小西千代さん

ツアー病院で出会った子どもたちのことが頭から

ツアー病院前で
ドクさんと一緒に



メコンデルタクルーズ

離れません。「戦争とはなんともむごいことか、平和がどんなに大切なことか」と改めて強く思いました。

旅行全体はとても楽しく、ゆったりとした旅でよかったです。
.....

次はアンコールワット

畦布久隆さん

グルメ旅行というよりも、研修旅行の感がありました。良かったです。

ここにアンコールワットが加われば最高だけど・・・(交通事情など知らないの、無理かもしれませんが)欲を言えば移動時間がもう少し短かければと思いましたが、旅行には満足しています。

原爆グルメフィジカの旅

巻き返しの策動ゆるさず

開沼淳一さん

完成した原発の使用凍結、米軍基地撤去という極めて貴重な成果をしっかりと維持することも闘い抜きには達成できないと思いました。

新規の原発の候補地があり、東芝や外国の原発企業が盛んに政府に働きかけているとのこと。
米軍戦艦や航空母艦まで



廃炉になった原発施設

も寄港が決まっているとのこと。巻き返しの活動は活発です。

それぞれの国の運動体が自国の人に真実を知らせること。また国際連帯を深めること。この大切さを思いました。
.....

想定外とは言わさない

小川 碧さん

なんとと言っても実際の原発の格納容器の中にはいれたことが貴重な体験だったと思います。

海拔18mの所にあり、電源装置がそれより3階ほど上にあつたこと。建物と格納容器との間に「あそび」の部分があり、震度7〜8にも耐えられるようにしてあつたこと等(美浜原発はそうなってませんでしたが)からも、福島原発がいかに安全神話に毒され、起こるべくして起こった事故かを痛感しました。
想定外とはいわさない!

花の貴州省の旅

歴史の深さを・

大江睦子さん

キャッチフレーズに惹かれ参加しました。メンバーにも恵まれ、本当に楽しい旅でした。

初めて訪れた少数民族の村は、日本の風景

にも似て、懐かしさを感じると共に歴史の深さを感しました。

しかし、素朴な苗族の村にも携帯・スマホが普及し、若者が指を動かす姿は不思議な感じさえしました。TVを持つ家庭もあるが、どのくらい世界の情報が入っているのでしょうか。

暮らしぶりを垣間見て

岩本禎子さん



苗族の皆さんと記念撮影

苗族の歓迎セレモニーは素朴でよかったが、お土産の売りつけがすごかった。他の苗族では家の訪問もできて暮らしぶりを垣間見られました。

会員紹介

余韻の残る
ええ旅ばかり
後光則さん
(和歌山在住)



繁昌亭の前で(右端が後さん)

センターツーリストの松本さん(前社長)とは、30年来のお付き合いです。

よくぞつぶれずに30周年を迎えられたものとうれしく思います。

センターツーリストの企画の旅は、心かよう仲間があつて、文化、平和、交流があつて「一味違う」。

今までの旅を思い出

してみると、帰ってきてから「良かった」「おもしろかった」と余韻の残るええ旅ばかり。

和歌山は「大阪のおまけ」ですが、旅行参加と会員拡大も頑張りますよ。今後ともよろしく。



貴州省の旅で

長野 晃 (寝屋川市在住)

丈低き 八重の桜の 並木道

貴州の街に 春の訪れ

裸木に うす紫の 桐の花

ゆらりゆれてる 貴陽の町に

赤黄青 民族衣装も あでやかに

ミャオ族娘ら 列なし踊る

ミャオ族の 若き踊りを とりまいて

老いし村人 目をこらし見る

中国の 広場に踊る 人ととも

妻嬉しげに リズムも軽く

文革は 空白の10年と 言われており

中国青年 静かに語る

写真部会

いい写真撮りたいなあ



雨の日の撮影

永柳 雅英



囲碁部会

初秋の能勢の郷で大会

日時 9月14(土)～15日(日)

能勢電山下駅14時集合

行先 能勢・昆布宅(能勢町宿野151)

料金 4000円(一泊二食・飲み放題?)

連絡先 センターツーリスト

近場に深山ハイキング

コース・るり溪散策コース

もあります。碁を打た

ない方の参加も大歓迎



編集後記

「待ち遠しい」「旅の案内が楽しみ」「旅行に参加できなくても国内外を問わず十分楽しませていただいています」「読みやすいきれいな紙面」 総会時のアンケートに寄せられた声です。

会員のみなさまの声をもっともっと反映できる紙面を今後も目指します。

編集部一同

雨の日に傘をさしながらの撮影は、とても大変です。身体や機材が濡れたり、わずらわしいことが多い、雨の日は撮影をしない人は多いと思います。

しかし、雨の日だからこそ撮れる被写体や情景もあります。多少の雨なら一度挑戦してみても如何でしょう。

まず簡単な防水対策として、カメラに被せるシヤワ

ーキャップか、レジ袋、厚手のタオルを2〜3枚用意して濡れたらすぐに拭くようにします。

雨の日ならではの被写体には、葉っぱや花びらについての水滴、濡れた地面、水たまりの波紋や花びら、濡れた地面に映る街灯やネオンの光などのほか、雨自体も立派な被写体になります。

雨にぬれた花は生気があり艶っぽく写ります。

ヨーヒーブレイク

禁煙して2年半！。

動機はいたって簡単。た

ばこの値上がりで孫娘の

「車が臭い！」。

40数年前の私にとつて

の喫煙は「大人の証」。

「紫煙」という美名に酔い

一種のステータスでした。

ところが1978年、受

動喫煙による健康被害

を契機に始まった嫌煙権

運動は今年35年目を迎

え、さまざま施設、交通機関での全国禁煙が劇的に進みました。

現在も、施設敷地内

や路上でも禁煙区域が

広がりつつあり、早晚、

「愛煙家」という言葉が

死語になる時代が到来

するかもしれません。

その昔、執拗に禁煙

の効用を説くおばちゃん

がいました。「人の嗜

好品にケチをつけるけむたい？おばちゃん」でしたが、今思えばおばちゃんの説教が、禁煙への遠

因になっていたのかも・・・

今では、喫煙は「他人

に迷惑をかける嗜好品

と思えるようになり、

「おばちゃん」の意思を

継いで喫煙の害悪と禁

煙による効用を呼びか

ける今日この頃です。M